

第4章 計画の推進体制

4-1 情報基盤の整備と活用

各施設の基本情報や光熱費をはじめとする運営経費、修繕履歴に加え、今回記録した劣化情報等を一元管理し、計画を適切に運用できる仕組みづくりを検討する。

4-2 点検の実施と計画への反映

消防施設の劣化状況を適切に把握し長寿命化を図るためには、定期的に点検を実施するとともに、日常的な維持管理（屋上ドレン回りの清掃等）も適切に実施する必要がある。

また、本計画において評価した施設の劣化度や工事優先度を今後も定期的に見直すことにより、常に施設の状態を把握し、改修や建替え等の実施時期の最適化を図ることが重要である。



写真 点検の状況

4-3 長寿命化に向けた対策費用について

建物の長寿命化に向けた中長期的な対策費用の見込みとして、計画期間 38 年のうち、最初の 3 年間は総額で 1.4 億円（年間 0.5 億円）で対応するが、その後の 35 年間では総額で 64 億円（年平均 1.8 億円）もの費用が必要になることが想定される。本組合が管理する消防施設は、老朽化した部位の改修が必要であるのと同時に、近年の社会情勢の変化に対応した改修も必要な状況である。本組合では主に、女性活躍推進に向けた内装改修、ユニバーサルデザイン化、事務作業の効率化、消防力向上等が課題となっている。

それでも限られた財産で長寿命化を進めるために、設計段階において現地の利用状況を把握し、改修範囲の限定化や効率的な長寿命化等といったコスト縮減策を検討していく必要がある。

4-4 フォローアップ

本計画は 38 年にわたる中長期計画となるため、社会情勢の変化により計画の乖離が生じる場合がある。そのため、第 I 期から第 IV 期までの期毎（目安として 10 年に 1 度）のタイミングで財政状況や建物状況等の再確認を行い、それまでの取組や進捗の評価を実施した上で、社会情勢の変化に合わせた計画の見直しを検討する。また、長寿命化計画の実効性を担保するため、5 年間に 1 度の間隔で PDCA サイクルを回し、継続的な取組を実現する。

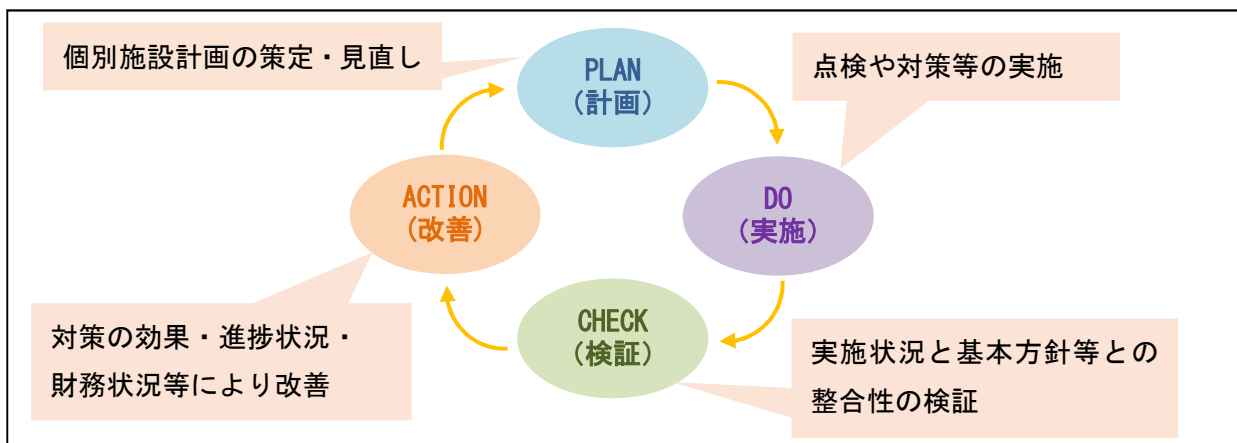


図 PDCA サイクル

尾三消防組合消防施設個別施設計画
(長寿命化計画)
令和 3 年 3 月

発行：尾三消防組合
住所：〒470-0151

愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字曙 18 番地